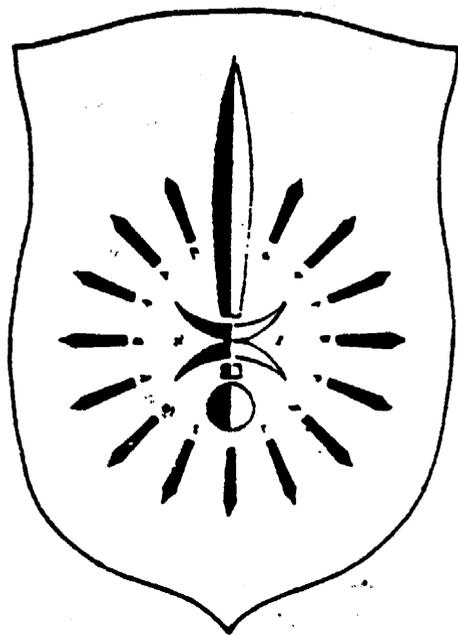


CANTONMAGGIO
MAGGIO RINNES

OR

THE USE OF
CANTON'S MAGGIO



R. O. R.

イントロダクション

ルーン魔術の高等な儀式については、ルーンに関する深い理解と訓練が必要とされます。K. O. R. では、ナイト（騎士）のイニシエーションを受け、正式なメンバーとして認められた人にのみ伝授されています。しかし、ルーンについてあまり深い知識がなくとも、ルーンの恩恵に浴することは可能です。その一つの方法が、本書でこれから述べる、ルーン応用のキャンドル魔術です。

基本的にルーンを用いたキャンドル魔術は、18の神聖ファソルク・ルーンの意味を把握し、本書を読むことができるすべての人が実行可能なものです。

魔術道具について

ここでキャンドル魔術についての紹介をはじめる前にこの種の魔術に必要なことをいくつか述べておきます。ルーン・エネルギーを用いて望むような結果を得るためには、日常の世界を魔術の作業場とする必要があります、そのためには、魔術道具を用います。

つぎに述べていく全ての魔術道具を入手できればそれにこしたことはないのですが、もし、入手が不可能であれば、あわせてあげてある代用品を用いても構いません。

必要なものは次の通りです。

1. 祭壇、約24×30インチのもの。白いクロスをかけておく。キ

キャンドル魔術の目的に応じ他の色を使用する。もし、キャンドル魔術用に特定の祭壇を用意できなければ、普通のテーブルを用いてもかまわない。

2. 香炉。理想的には下から香を熱するタイプのもの。代用としてどのような香炉を用いても良い。

3. 香。白檀、もしくは、乳香がのぞましい。理想は、ルーン魔術用の香。これらのうちどれも入手できなければ、全然香を用いないよりはどんな香でもよいから使用した方がよい。

4. 水やワインを入れるためのカップ

5. ルーンの護符、適切に祝福され、チャージされたトールのハンマー。

6. ルーン板。代用として紙で作成したカードにルーンを記入し適切にチャージをほどこしたものをはじめのうちは用いても良い。

7. いろいろな色のキャンドル。虹の七色に白と黒、茶色と灰色を加えた色をもっているのが望ましい。

8. 内部ルーン領域導入用テープ（準備中）があると便利。

9. 短剣。この短剣は、ルーン魔術の儀式においてあなただけが使用するものであるべきだ。同様のことは他の全ての道具についていえる。パワーロッドは、短剣と同様に用いることができる。

魔術道具の象徴的意味

1. 祭壇。あなたの作業場であり、ワークをおこなう領域を表している。象徴的に配置された世界の縮図である。

2. 香炉と香。風のエレメント、メンタルな領域を象徴している。

3. カップ。水のエレメント、アストラル界と魔術師の情動的なパワーを象徴している。水やワインは、儀式のために必要とされる特定のルーン・エネルギーでチャージされなければならない。水やワインを飲むことは、アストラル・エネルギーを儀式の目的に同調させることを意味する。

4. キャンドル。火のエレメント。意志力、または、流出界を意味する。しかし、それ以上にずっと多くの意味がキャンドルには含まれている。儀式において光りが重要な役割をはたさないことはほとんどない。光り自体は、ニュートラルであり、儀式のなかでの役割に応じて色彩をおびることになる。光りは、とても重要であるので、多くの儀式では、光りを象徴するものを含んでいる。そして、キャンドルは、光りを象徴するものとして好まれる道具である。もちろん、キャンドルには、光りを象徴する以上に関連した深い意味がある。キャンドルを含んだ様々な儀式に習熟するにつれ、より多くの意味に気づき、キャンドルをより効果的に用いることができるようになるだろう。

周知のとおりキャンドルは、多種類の材料からなりたっている。多くは、パラフィンからなり、ときには、蜜ろうからできている。匂い付

きや色つきであったり、特別な形や長さをしているもの等がある。

キャンドルの重要性は、様々なレベルに及んでいる。キャンドルは、主として光りを象徴するものとして用いられているので、儀式において許される唯一の光源とされている場合が多い。キャンドルの色は、魔術師が儀式中にコンタクトしたいと考えている領域を象徴するだろう。使用されるキャンドルの数は、もうひとつの象徴的な意味をもつ。召喚を行ない、惑星の領域を扱う魔術師は、土星の召喚、または、土星の領域に存在するものの召喚に対しては、3本のキャンドルを、木星の場合には4本、火星は5本、太陽は6本、金星は7本、水星は8本、月に対しては9本のキャンドルを使用する。

キャンドルは、視覚化と想像力をたすけるすばらしいツールである。ルーンを用いた儀式を実践する時、魔術の目的とキャンドルの数を対応させるかもしれない。ルーンをキャンドルに彫りこむのもよい。3本のキャンドルを使用する場合、そのキャンドルは、ファソルク・ルーンの3つのグループを象徴している。ペンタグラムのなかに内包されている力を利用するつもりならば、5本のキャンドルを使用すべきであろう。ヘキサグラムを表す6本のキャンドルを使用する方法もある。中心に1本のキャンドルを置き、7本としてもよい、それは、ヘキサグラムの対角をむすんだことになり、また、ルーンの母でもある。9本であれば、ルーンの儀式においては、ルーンIS、真の自我、高次自己への懸け橋をしめす。また、それぞれのルーンに1本のキャンドルを対応させ18本のキャンドルを用いても構わない。18本のキャンドルを使用する場合は、1本のキャンドルにルーンを1つずつ彫りこむのを勧めたい。18のキャンドルは、18のルーン板と同様に配置する。ルーン板とともにキャンドルを置いてもよい。蜜ろうの

うのキャンドルは、パラフィンのキャンドルに比べいくつかの利点がある。キャンドルの色は、儀式の目的にあわせてもよいし、さもなければ白色を用いるべきだろう。あるいは、蜜ろうキャンドルを使用する。

1本、もしくは、2本のキャンドルは、集中力と視覚化の助けになり、焦点として抜群の効果がある。1本のキャンドルの炎、または、2本のキャンドルの炎の間の空間（4インチから8インチ程度離す）を見ている間に、あなたはよりよく「一瞥でもって矢を捕らえる」ことができるようになるだろう。（ルーンRITのスタンザ）

キャンドルの形、大きさ、色、香りがどのようなものであれ、これらの特定の配置は、流出の形を与える。言葉を変えていえば、キャンドルの配置は、意志力に最初の方向づけをおこない、流出界においてトリガーとしてはたらく。

5. トールのハンマー。トールのハンマーは、意識的なエネルギーの放射の最高のシンボルであるだろう。トールのハンマーは、それ自身のなかに意志の領域、メンタルな領域、アストラルー情動の領域の3つの要素をふくんでいる。一度トールのハンマーをチャージしてしまえば、すべてのエレメントを特定の目的へと照準をあわせることができる。あなたがなすべきことは、トールのハンマー（正確には、物質としてのそれではなく、その高次の構成物）を意識の時空連続体の狭間に位置している目的に向かいなげつけることだけだ。トールのハンマーは、物質界における道具であるが、その高次構成物は、時空の制限を超越して目的に到達する。それは、力の道具であり、ユニバースとあなたをむすんでいる。チャージしたエネルギーがなんであれ、あなたのめざすものがどのようなものであれ、そのエネルギーを目標へ

と放射する力がトールのハンマーには、あるのだ。それ故、トールのハンマーは、もっともパワフルなルーンの護符であり、祭壇上において地のエレメントを象徴している。ルーン魔術の実践には、トールのハンマーの使用法を正しく習得する必要がある。トール神と彼のハンマーについて北欧神話を学ぶことにより有益な情報を得ることができるだろう。祭壇上のトールのハンマーは、もちろん物質次元に属するものであるがこれには、霊的な部分、もしくは、霊的構成物を含んでいる。その部分を目標に向かい投げつけるわけであるが、これはイメージーションの力でもっておこなう。トールのハンマーを用いることになればなれるほど、それを使用する技術は向上する。実際のところ、ルーン応用のキャンドル魔術は、トールのハンマーの使用と放射の技術に他ならない。トールのハンマーは、紙の上に描いて使用しても構わないが、理想的には、ペンダントとして身につける護符であるべきだ。

6. ルーン板。18のルーンの板のセット。EHとGIBORを中心に置き、他を円形に配置する。これは、あなたが扱うエネルギーを象徴している。これらのルーン板の存在は、ある種のカ場を形成する。これらのルーン板は、外部ルーン領域における。エネルギーの集中点である。この配置は、全体として象徴体系の力をもたらしてくれる。

7. 短剣。これは、アストラ界の支配を象徴している。防御と放射の魔法円（円形配置のルーン板のこと）のセッティングのために使用する。

魔術道具の準備

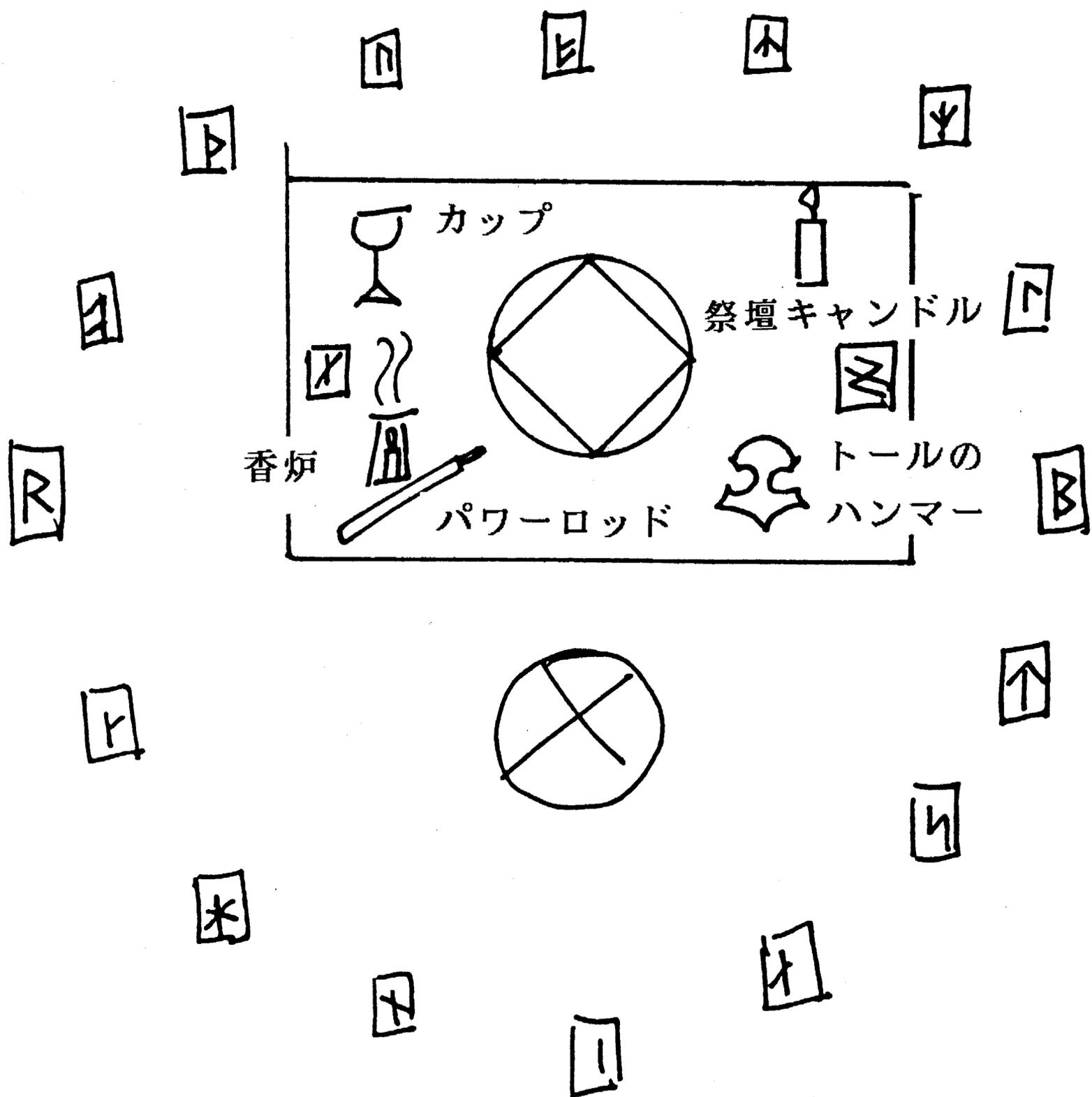
1. 魔術日記に儀式を実行する日時、その目的、用いる技法、進行手順を記入し、そこに記入された概要に従うために祭壇上に安置する。

魔術日記には、正確に儀式を実践するための補助としての役割のほかにも、もう一つの重要な目的がある。それは、後になってどのような儀式が最高の成果をもたらしたのかを比較検討するためである。もちろん、毎回基本的な儀式の内容について記入する必要はない。

2. 個人的準備：自分自身を儀式のためにととのえることは、とても重要である。これは、自分を悩ませているすべてのことをとりのぞくことも含んでいる。これには、入浴が勧められる。入浴は、象徴的に心配や魔術の目的を妨げるすべてのものを洗淨する意味を持っている。また、このような態度で入浴することにより、霊的中枢を浄化することが可能となる。入浴後は清潔な衣服を身に付ける。魔術儀式のために特別に用意した衣服や特殊な法衣を身に付けるのが理想だ。古代の宗教では、自由と生命ある宇宙との直接のコンタクトの象徴として裸で儀式を行なうのが好まれた。

3. 儀式場のセッティング。次に儀式を行なう場所のセッティングが必要となる。それは、自分のテンプルであり、儀式の場は、あなたが影響を及ぼそうとしている世界を象徴的にあらわしている。また、作業中に邪魔をされることがないように気を配っておくこと。当然のことながら、場所を清潔にしておくことも必要である。テーブルでもよいが、祭壇を設置し、魔術道具をその上に配置する（図を参照のこと）。キャンドルとルーン板の間には十分な距離をとるようにする。そして、テーブルの周囲にルーン板を配置する。この時、サークル内での

の移動がスムーズにできるように十分な大きさをとっておくのがよい
 ルーン板のEHとGIBORは、テーブル上の左と右の端にそれぞれ
 置いておく。儀式において必要なルーンは、サークルからテーブルの
 上に移動させる。水、または、ワインを満たしたカップ、香炉、祭壇
 用キャンドル、トールのハンマー、短剣、魔術日記、儀式書を祭壇上
 にそれぞれ設置する。儀式とその目的により、祭壇の中心部分の配置
 を行なう。祭壇の正面に立つか、その場所に椅子を置き腰掛ける。



次にそのなかで作業をおこなうことができるように霊的な場である、内部ルーン領域と外部ルーン領域を調える。

最初にサークル内において18のそれぞれのルーンと同調し、個々のルーンに対しマジカル・ポエムを詠む。そのかわりに、内部ルーン領域確立のためのテープを聞き、内部ルーン領域のそれぞれのルーンと外部ルーン領域の対応するルーン板を関連づける方法もあります。

4. 防衛円：次に短剣、または、パワーロッドを用いて、ルーン板でつくられた円をなぞり、つぎに、東西南北の4方位すべてに対し空中にHAGALを描きます。4方位は、北（ルーンFAの位置）からはじめ、西（RITの位置）、南（ISの位置）、最後に東（BARの位置）の順に描いていく。空中にHAGALを描く時には、できる限りのイマジネーションをはたらかせ、HAGALにより守護されているという感覚、宇宙との一体感をもって行なう。

描き終えたら、短剣を香炉の脇に戻す。

5. 祭壇用キャンドルに火をともし、次のように唱える。

「万物において永遠なる、

光の力よ、

闇をつらぬけ！

聖なる炎よ、輝け！

闇夜に光をもたらせ！

あたり一面、闇に覆われ、

夜が訪れ来ようとも

我は、光のただなかにあり、
光は、闇をつらぬき走る

時のはじめより、燃えきたる
根源なる炎、F A
この世のはじまりの時、
太陽にてうまれし、
光の力、A R
道を求めるものに光を与え給え！」

6. 香に火をつけ、次のように唱える。

「ルーンの諸力よ、
ユニバースと自己の
さらなる理解へと導き給え！」

7. 水（ワインの場合は水で薄めておく）で満たされたカップの上に両手をかざし、儀式の目的について思い浮べる。もし、目的が個人に関するものであれば、ワイン、もしくは、水のなかにその結果を視覚化する。そうでない場合は、水のエレメントは、情的な強さを象徴していることを思い。エネルギーを水のなかへ放射する。それから、その一部を飲む。

8. トールのハンマーを見つめ、それが、ルーン・エネルギーの吸引、吸収、放射のための能力の象徴であることを思い、その上に両手をかざし、そのパワーを認識する。

これで全ての準備が終了し、キャンドル魔術の目的に応じた特定の儀式を行なうことができる。

特定の儀式が終了したら、次のようにして式全体をしめくくる。

9. 次のように唱える。

「(ルーンの名前をいれる) の力よ。

御力に感謝します。

創造の領域へとおもどりください。」

または、

「もろもろのルーンの力よ。

御力に感謝します、

創造の領域へとおもどりください。」

10. 水が土に吸いこまれるように、地中にエネルギーが吸いこまれていくのをイメージ、視覚化する。このようにエネルギーをアースすることをグラウンディングという。

11. 祭壇キャンドルを消す。

12. 香を消す。

13. 体験を魔術日記に記入する。

14. 道具をすべて片付ける。

目的に応じた儀式のための

セッティング

一般的セッティング

1. 祭壇上に円を描く。ルーン・リーディング（ルーン占術）の場合には、円の中に外部ルーン領域を形成しているのとは別のルーン板を展開する。
2. 円のなかに内接する正方形を描く。正方形の角は、4方位に、北の角はF A、南の角はI Sなど、に合わせる。F Aの角に依頼者キャンドルをおく。白色、または、蜜ろうの自然な色のキャンドルを用いる。それにくわえ、キャンドル魔術の特別な目的にあわせてルーンを彫りこんだキャンドルを配置する。また、正方形の中に望みを記した紙を置くのもよい。また、儀式の目的と関連した物や影響をあたえようと考えている人や状況に関連したものを持ち込むのも良い。（毛髪、写真、爪など）
3. 依頼者キャンドルに点火し、それから、ルーンのキャンドルに点灯する。ルーンのキャンドルに火をつける時には、そのルーンが何のルーンであれ、マジカル・ポエムを唱える。EXAMPLEを参考のこと。また、依頼者キャンドルに点火するときの祈りは、目的、希望に応じて修正してよい。すべてのキャンドルに点灯した後、ルーン・エネルギーを吸引する。願望を記した紙を燃やし、それが燃え尽きるまでしばらく瞑想し、すべてのエネルギーが祭壇上にあるトールのハンマーに集中し、ハンマーの霊的部分がエネルギーとともに目標に向かい飛んでいくのをイメージする。

この後、前述の方法で儀式をしめくくる。

以下にのべるEXAMPLEの儀式のセッティングは、今述べた様にして行なう。

EXAMPLE： 運勢の好転

目的：運勢の好転

使用キャンドル：依頼者キャンドル

NODを彫りこんだキャンドル

MANを彫りこんだキャンドル

SIGを彫りこんだキャンドル

式次第：

1. 依頼者キャンドルに火をともす。

次のように言う、「このキャンドルは、（依頼者の名前）をあらわす。彼（彼女、私）の霊、決意、意図は、この炎同様力強い。現在の不運な状況をのりこえる力、ルーンの諸力は、彼（彼女、私）に幸いするだろう。」

2. NODのキャンドルに点灯

次のように言う、「ノルンのルーン、NOD、カルマの束縛を解き放ち、状況を好転させ給え。A e p a n d i n a m。私は、創造の領域より、援助してくれる力を呼び寄せている。彼（彼女、私）の望みの実現を助け給え。」

3. MANのキャンドルに点灯

次のように言う、「MAー豊かさの根源なる言葉、願望の達成者、彼（彼女、私）のためにさらなる力を」

4. SIGのキャンドルに点灯

次のように言う、「私の内なる創造者の霊よ、勝利の力をお与えください。」

5. 内部ルーン領域を認識し、そこで適切なエネルギーを放射し、それを外部ルーン領域と関連させる。つまり、内部ルーン領域と外部ルーン領域を重ね合わせる、あるいは、重なりあっているのに気づくという感覚をもってもよい。K. O. R. のメンバー以外でルーン領域に関して学習していない場合は、次に進んで構わない。

6. すべてのエネルギーがトールのハンマーに集中するのをイメージする。

7. そこから、すべてのエネルギーが依頼者とその目的に向かい放射されるのをイメージする。具体的には、目的のビジョンを描き、それに向かいトールのハンマーが飛んで行き、ビジョンに触れた途端にビジョンが白銀に輝くのをイメージする等の方法をとる。トールのハンマーを「飛ばす」際には、その瞬間に祭壇の縁を指で軽く叩くなどした方が飛ばし易いかもしれない。

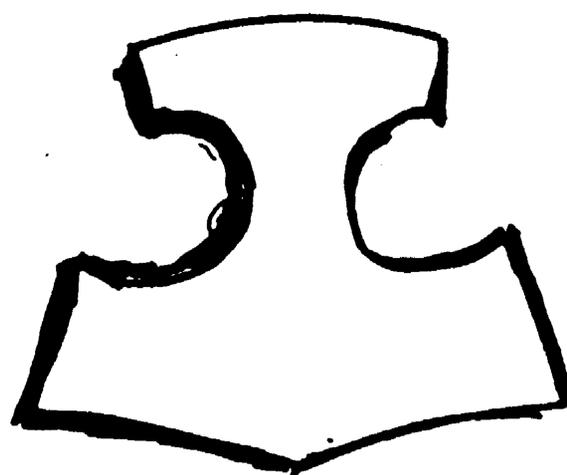
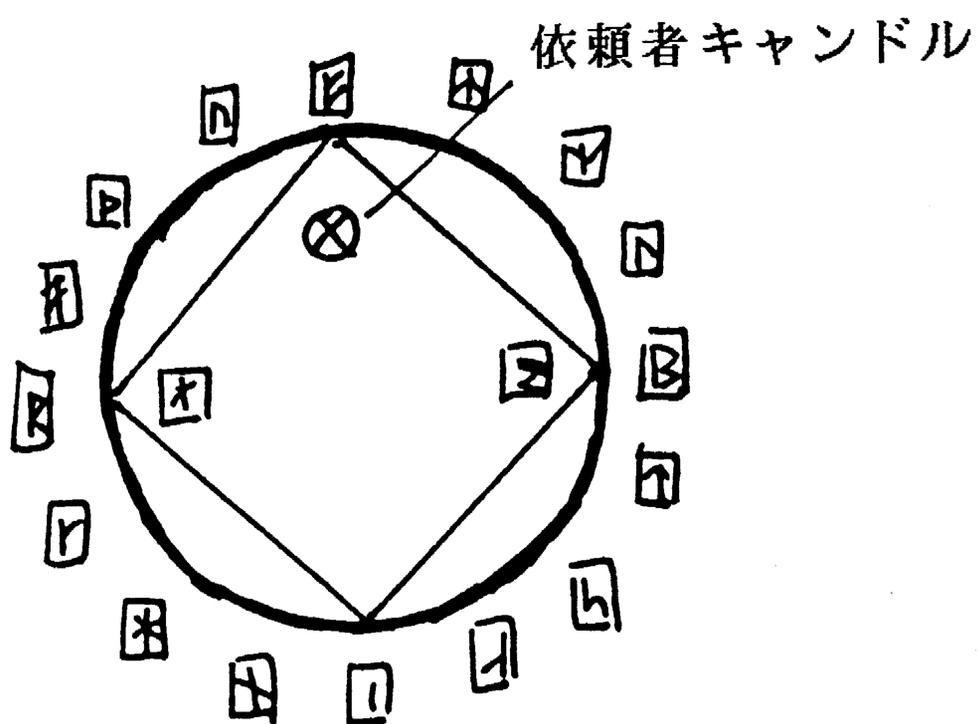
8. 次のように言う、「トールのハンマー、ルーンNOD, MAN, SIGの力の運び手よ、運勢好転のため、（名前）にむけ飛翔せよ。」

9. キャンドルを消す

10. ルーン・エネルギーのアース

11. トールのハンマーに残っているエネルギーのアース

12. あなたが放射したエネルギーは、あなたの（または、依頼者の）願望をかなえてくれる。したがって、これ以上あなたがすべきことはなにもない。このことは、手紙を書き、ポストに投函するのに似ている。投函後は、送りたい先へ手紙をとどけるのにあなたがすべきことは何もない。



トールのハンマー

R、富は、増加し、運勢は向上し、勝利の果実を手にする。」

10. SIGとTYRのキャンドルを凝視。「SIG-TYR, SIG-TYR, SIG-TYR (マントラ詠唱)」

11. HAGALのキャンドルを点灯。HAGALのマジカル・ポエムを詠唱。次のように言う、「HAGAL (マントラ詠唱)、宇宙を維持する力が我内に流れ込む、宇宙を維持する力は、我内において働く、宇宙を維持する力は、私を通して働く。」

12. 全てのルーン・エネルギーがトールのハンマーに集中するのをイメージする。そこから全てのルーン・エネルギーが依頼者とその目的に向かい放射される。

13. 次のように言う、「トールのハンマー、ルーンNOD, BAR, FA, SIG, MAN, AR, TYR, HAGAL (マントラ詠唱)の力の運び手よ、(成功の内容)についての成功をもたらすよう、(依頼者の名前)へと飛翔せよ。」

14. キャンドルを消す

15. ルーンのエネルギーのアース

16. トールのハンマーに残ったエネルギーのアース

ルーン魔術通信講座

本講座の目的は、ルーン魔術の実践的な知識を提供することにあります。受講者は、各ルーンにつき一冊ずつ、計18冊のテキストを受けとります。この18冊のテキストは、18のルーンの歌とも関連しています。各テキストは、通常3週間で完成します。もちろん、それ以上の期間をかけられることは問題ありません。選定されたルーン・マスターがあなたの進歩を観察し、プラクティスにおいて生じた疑問にこたえ、必要に応じアシストします。

内容

- ☆全般的な自己の向上
- ☆霊的発達
- ☆高次自我との一体化
- ☆ヒーリング・パワーの強化
- ☆あらゆるレベルでのヒーリング及び浄化のためにルーン・エネルギーを伝達する能力
- ☆オーラを強化する能力
- ☆ルーン・リーディング (ルーン占術)
- ☆霊的攻撃からの防御
- ☆魔術道具についての知識
- ☆コスミック・エネルギーを吸収する技術
- ☆カルマの理解
- ☆過去世の想起

- ☆不運を幸運にかえる力
- ☆創造の次元へのアクセス
- ☆成功と力
- ☆予知夢と透視
- ☆第三の目の開発
- ☆チャクラの覚醒
- ☆愛と友情の獲得 など

神聖ルーン騎士団

本講座は、グランドルーンマスターであるカール・ウェルツを指導者とする、神聖ルーン騎士団 (Knights of Runes) の日本における活動としておこなわれています。したがって、テキストは、すべてカール・ウェルツの著作、指導に基づいて作成され、受講者は、本部にも同時に登録されます。

問い合わせは、下記の住所へ

〒183 東京都府中市白糸台4-51-3
ガーデンハウス105
藤原大立

FA
(to help)

AR
(to reframe)

UR
(to heal)

SJØ
(to win)

THORF
(to project)

THR
(to sacrifice)

OS
(to accept)

BAR
(to rest)

RJT
(ceremonial)

LAF
(cosmic law)

KA
(capability)

MAF
(spirituality)

HAØAL
(universe)

DR
(roots)

NOB
(karma)

EL
(cosmic union)

IS
(true Ego)

ØJØR
(Self, Oneness)